

## 子育て支援、具体策は

町長…小学校6年生まで医療費の無料化を実施したい



村岡 藤弥 議員



「つや姫」の作付け拡大はできないのが(豊田育苗センター)

農家経営を安定させる高品質の「つや姫」の作付けは

米価の下落、品質の低下、減収の三重苦で農家は困窮している。町の対応は。

町長 戸別所得補償の固定払いと水田活用事業交付金は年内に交付の予定で、米価下落に対する変動払いも年度内に行われる予定です。また、県では緊急の短期運転資金を無利子で融資するとし、その利用状況を見ながら、町としてどのような支援策が可能か検討します。

このような米の状況で今秋本格デビューした「つや姫」は高品質であり、高値で取引されている。「つや姫」を作付ることが農家経営を安定させることにつながるという。しかし、作付するには栽培農家の条件や出荷条件(※CEのみ)、県の方針など多くの課題がある。県やJAへの働きかけをすべきではないか。

町長 「つや姫」作付へ向け、県・JAへ方針や政策を問い直していきます。

町ができる農業担い手育成対策は

戸別所得補償は、これまでの農政が進めてきた担い手育成や土地の集積推進とは逆行している。このまま進めば認定農業者をはじめとする担い手の意欲は削ぎ落とされ、取り返しのつかない状況になってしまおう。町ができる担い手育成対策は、町長 それぞれの地区で農業者が主体となって集落ごとの今後の営農ビジョンを話しあい、地域の担い手を位置づけることが大切であり、その上で意欲ある農業者を認定農業者に誘導し、支援していきたいと考えます。

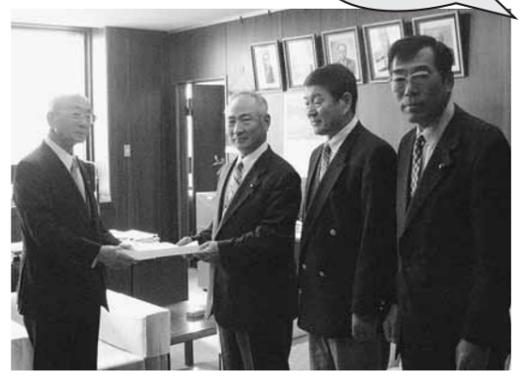
認定農業者経営確立支援事業、135万円の増額は。産業振興課長 新年度へ向け200万円の予算要求していきます。

子育て支援の具体策は、町長 財政状況を勘案しながら、中学3年生までの医療費無料化を実施したいと考え、当面の措置として平成23年度からは小学校6年生まで実施したい。

土地開発と定住対策は、町長 大石田駅東地区に集合住宅や戸建て住宅などの建設、あるいは雪国に適した宅地造成等を計画していきたいと思っております。

※「CE」とは「カントリーエレベーター」の略で、穀物の乾燥機とサイロ(貯蔵タワー)とをエレベーターでつないだ農業用大型施設のこと。米や麦、大豆などの穀物を集荷、乾燥、調製、貯蔵、精米、袋詰め、出荷を行う共同利用施設。

# 町長に9項目を提言



議会から町長へ提言

議会から町長に対して12月3日に提言書を提出しました。これは総務文教常任委員会と厚生産建常任委員会、改善すべき当面の課題や町民の暮らしを守る課題について議論し、取りまとめたものです。昔からある町内の施設の名称を変え活用しやすくすることや、小学校のスムーズな統廃合、高齢者の平穏な日常生活を確保するための交通弱者対策など、行政運営のさらなる充実を求め、次の9項目を提言しました。(記 遠藤議員)

### 《提言内容(抜粋)》

- 〔教育関係〕
  1. 23年4月に新設される小学校3校の円滑な開校を
  2. 学童保育を統合小学校単位に設置を
- 〔施設利用関係〕
  3. 廃校施設及び跡地の早急な利活用の提示を
  4. 現在の利用状況になじまない施設名称の見直しを
- 〔情報通信関係〕
  5. 防災放送設備の積極的活用と、さらなる幅広い利活用の検討を
  6. 議会中継のできる設備整備を
  7. 町の情報は積極的に発信を
- 〔福祉関係〕
  8. 高齢者が移動しやすい交通手段の確保を
- 〔農業振興関係〕
  9. 地産地消の拠点として産直市の拡大推進を

## 県内外からの行政視察!!

10月に3議会が来る。町し、交流を深める。



福島県石川町議会からの視察

10月6日にマグロで有名な青森県大間町議長を団長に下北郡1町3村の議長会

が行政調査に来町し、議会活性化について意見交換をしました。原発を持つ2村の議長より原発排水路の周囲や近海は立ち入り禁止になっているため、魚群・海草の宝庫になっているとの話におどろきました。

10月8日に河北町議会の皆さんが、12月にオープンする「ひなの湯」に併設の宿泊施設の開業にあたり、わが町の虹の館の運営、実態の勉強に来町しました。

10月18日には福島県石川町議会の皆さんが学校統合について訪れ、教育文化課長より統合中完成までの経過、事業内容について説明を受け、ぜひ石川町でも参考にして進めたいと感心して帰られました。

多くの町村と交流することにより参考になる点が多く、今後も積極的に進め、わが町の議会運営にいかしていきたいと思います。

(記 小林議員)